

2014年度
第1回
推進学習会
(7月9日)

なくそう! 介護難民 ~介護保険制度を考える~

参加157名



講師の
大阪社会保険推進
協議会事務局長
寺内順子さん

所得者も資
引上げ、
所得により
利用料を引
き上げ、
の入所基準
特養ホーム
の介護給付の
対象から外したり、

今年で開始から15年となる、介護保険制度。40歳以上の全ての国民が納税義務を負う、日本で最大の社会保障制度ですが、2年前に消費税率の段階的引き上げとセットで「税と社会保障の一体改革」が可決され、厚生労働省により「介護保険見直しに関する意見」としてまとめられました。「見直し」のポイントは、①最大人口の団塊の世代が75歳以上になる「2025年」までに、②費用のかかる「医療」ではなく「介護」によって、③「地域包括ケア」＝地域で面倒をみる、です。現状では要介護・要支援認定を受けている人は、65〜69歳の3%から始まり、平均寿命である85〜89歳くらいでやると約50%の人が認定を受けま

「見直し」のポイントは、①最大人口の団塊の世代が75歳以上になる「2025年」までに、②費用のかかる「医療」ではなく「介護」によって、③「地域包括ケア」＝地域で面倒をみる、です。現状では要介護・要支援認定を受けている人は、65〜69歳の3%から始まり、平均寿命である85〜89歳くらいでやると約50%の人が認定を受けま

今年で開始から15年となる、介護保険制度。40歳以上の全ての国民が納税義務を負う、日本で最大の社会保障制度ですが、2年前に消費税率の段階的引き上げとセットで「税と社会保障の一体改革」が可決され、厚生労働省により「介護保険見直しに関する意見」としてまとめられました。「見直し」のポイントは、①最大人口の団塊の世代が75歳以上になる「2025年」までに、②費用のかかる「医療」ではなく「介護」によって、③「地域包括ケア」＝地域で面倒をみる、です。現状では要介護・要支援認定を受けている人は、65〜69歳の3%から始まり、平均寿命である85〜89歳くらいでやると約50%の人が認定を受けま

介護の問題は経済的・精神的な負担が大きいことも多く、事件・事故も後をたちません。実際に必要な人が必要な介護を受けられなくならないために、よく知り知らせ、自分の地域の今後の「介護保険第6期計画」(2014年度策定)が住民本位のものとなるように注目したいものです。

住民本位の介護保険計画になるように

介護の問題は経済的・精神的な負担が大きいことも多く、事件・事故も後をたちません。実際に必要な人が必要な介護を受けられなくならないために、よく知り知らせ、自分の地域の今後の「介護保険第6期計画」(2014年度策定)が住民本位のものとなるように注目したいものです。

パルコープエリアの介護保険給付状況 (大阪社保協調べ・2014年) (人数)

市町村名	要支援①	要支援②	要介護①	要介護②	要介護③	要介護④	要介護⑤
大阪市	32,056	23,247	22,456	25,840	17,736	17,103	14,280
くすのき	1,993	2,662	2,637	3,841	2,216	2,012	1,719
枚方市	2,466	3,727	1,589	4,239	2,397	1,955	1,634
寝屋川市	1,571	1,656	1,566	2,069	1,310	1,232	1,041
大東市	986	1,039	681	903	593	555	579
交野市	776	389	533	369	347	370	301
合計	39,848	32,720	29,462	37,261	24,599	23,227	19,554

産が有れば補助をカット、など介護保険の枠を小さくすることがめざされています。

要支援①・②の「訪問介護」と「通所介護」を介護保険給付の対象から外す

※くすのき広域連合とは、門真市、守口市、四條畷市3市で作っている保険者

いきいき昼食会仁和寺

5月8日 仁和寺組合員集会所 参加29名



「茶つみ」の歌など楽しく歌いました



毎回配られる「料理のレシピ」。スタッフの夫君がパソコンできれいに作ってくださっているとのこと



65歳以上の組合員さんが月に1回、季節のお料理と一緒に昼食で楽しむ「いきいき昼食会」。4カ所(寝屋川・仁和寺・城東・阿倍野)で、主催組合員さんたちのボランティアで開催されています。仁和寺集会所での5月開催分におじゃましました。

ボランティアスタッフは8名、11時50分からの食事開始にあわせ総勢37名分を作るため、朝8時半には準備が始まり、息のあったメンバーが、毎回違うメニューで品数多く珍しく、喜ばれる料理を作ります。この日のメニューも、あまり家では作らないニョッキや、煮物とえ物も目先の変わった材料で作られ、手作りのデザートまでが完成!



この日を楽しみに待っていた組合員さんが続々と集まられ、おいしく楽しく一緒に食事。食事の後は、誕生月の組合員さんの紹介や、ハーモニカの演奏で懐かしい童謡などを歌いました。また、この日は特別に豆腐メーカーのマルツネさんに来ていただき、学習会も。充実した時間をみんなで過ごせた「いきいき昼食会仁和寺」でした。

※マルツネ学習会の様子は「ばるタイム101号8・7ページ」に。

パル委員アンケートにお答えください

“パル委員”の活動をご存知ですか? 様々な年代の組合員さんが、自分たちの関心事から「こんなことをやってみたい」というテーマでとりくみや学習会をして、地域の中での組合員さん同士の交流をすすめています。あなたもパル委員の仲間になりませんか。

- 問1. あなたの年代は?
①10歳代 ②20歳代 ③30歳代
④40歳代 ⑤50歳代
⑥60歳代以上
- 問2. パルコープのとりくみに参加したことがありますか?
①ない ②1回だけ
③2~3回 ④何回も
- 問3. パルコープで取り組み「参加してみたい」と思われることは?(2つまで選択可)
①商品の試食会、講習会 ②産地、メーカー見学
③環境や消費税など社会的問題学習会など
④健康、福祉問題の学習会など ⑤ボランティア
⑥趣味のサークル
- 問4. パル委員について知っていますか?
①このアンケートで知った ②知っていた
③やっている (やっていた)
- 問5. パル委員をやってみませんか
①やってみたい ②一度話を詳しく聞きたい
③資料があれば見たい ④条件があえば考える
⑤興味はあるが今はできない
⑥やってみたいとはおもわない ⑦すでにやっている
- 問6. 地域の委員さんから連絡をしても宜しいですか?
(個人情報、このアンケートでの連絡にのみ使用いたします)
①電話連絡しても良い (生協登録の電話番号に)
②郵送しても良い (生協登録の住所に)
③その他の連絡先に連絡 (下記の組合員活動サポートセンターにお知らせください) ④連絡は要らない



9月2回のOCR注文書アンケート記入欄番号1409~1415に回答番号を記入。

新しいパル委員さんにお聞きしました インタビュー

守口、中部・西部・南部地域活動委員会のみなさんは、守口組合員集会所を拠点に様々なとりくみを行なっています。

新しいパル委員さんが、いっしょに増えて元気な守口の3地域活のみなさん。自己紹介していただきました。

●樋口さん●
友だち(浦崎さん:写真右上端)に「一緒にやらない?」って誘われて来ました。食べることが大好きで興があります。



●木村さん●
ここへ来たらしいんことが学べて楽しいわ。

●山本さん●
ちょっとずついるんことを知っていければ良いな。この子はもうすぐ2歳です。(保育用の車のオモチャが楽しそうでした)

●武生さん●
誘ってもらって、軽い気持ちで来ています。この子は2歳です。(好きなパンをたくさん食べてゴキゲンでした)

(この時の合同パル委員会の様子は4ページ上)

6月度の委員会の主なとりくみ (5/21~6/18)

とりくみ内容別	委員会数	参加人数
産地工場見学	7	133
取引先を講師に学習会	3	194
平和のとりくみ	3	41
内部見学 (物流)	1	17
内部学習会 (福祉・ばるむ)	1	11
etc. その他のとりくみ	10	209
合計	25	645

※組合員活動サポートセンター ☎0120-299-244 FAX0120-299-230 携帯・PHSからは ☎06-4801-7648 (月曜・土曜 9:00~17:00/火~金曜 9:00~18:00)